

「大手町時代を振り返って」

井野元 和子

社友会事務局の方から本社が大手町にあった頃の事をというお話をいただき私の経験で良ければとお受けしたものの昔の事を思い出しながらですので、記憶間違いが多々有るかと思いますが、そこはお許しいただければと思います。

東亜石油入社 私が入社したのは昭和45年（1970年）、バブル時代の少し前になりますでしょうか。会社が丸の内とか大手町というのがまだ憧れの地のような時だったと思います。

同期は60名前後だったと思いますが、ほとんどの方が製油所勤務であったので全員がそろったのは入社式だけで、その後、同期のハイキングや労働組合のイベント、会社の行事などに参加する事で徐々に距離を縮めていったように思います。

新大手町ビル

新大手町ビルはいろいろな会社が入ってましたので、お昼休みには屋上でバドミントンやバレーボールなどで他社の方との交流もあると先輩から聞いて同期の女子社員と何度か様子を見に行ったような気がします。入社した頃、本社は各部署の方を覚えるのにあまり時間がかからないくらい的人数だったと思いますが、和気藹々としたような印象を受けた覚えもあります。配属された部署から、人事とか財務で人手がいるような時、例えば賞与の時などの仕事の手伝いをした覚えもあります。まだまだIT化から程遠い手作業の時代ですし、ただ嬉しかったのは賞与が現金で支給されていたので実感しました。



2001年リニューアル前の
新大手町ビルヂング

名古屋製油所建設プロジェクト参加

実際に配属されたのは、プロジェクト管理部で名古屋製油所を作るプロジェクトに関する仕事でした。名古屋での起工式で初めて現地を見て、何も無い埋め立て地に大きな製油所を作るという過程に、図面や書類の整理などでほんの少しでもかかわれたという事は全く知識の無い私でも楽しい仕事だったと覚えております。川崎製油所から多くの方が転勤された本社は狭く感じた事もありましたが、新しい物を作るという充実した日々でもあったように思います。

徐々に建設部の方々が名古屋に移動され間もなく名古屋製油所が完成しましたが、事務所が広く感じたのもつかの間、フレキシコカーの建設プロジェクトでまた多くの方が移動されて来て活気が戻ったように感じました。その頃私は購買部だったと思いますが、オイルショックの頃でいろいろと大変な時期でもあったように覚えております。特に経理・財務の方々、中でも東亜石油の歴史を一番ご存知でいらした大先輩の方には大変お世話になったと記憶しております。

昼休み

お昼は、新入社員の頃は同じ部署の方や先輩女性社員が声を掛けてくださり、ビル地下の飲食店や野村ビルや日本ビルといった近隣ビルの飲食店、そして ちょっと足を延ばして東京駅周辺までといろいろな安くて美味しい所を教えていただきました。またお弁当を買って会議室で他部署の方とお話をいろいろ聞きながら過ごしたり、ある時は先輩女性社員が誘ってくださりお弁当を買って日比谷公園で食べたりと楽しい時間でした。今回のお話でビル地下の「丸帆亭」、「蓼科」、「モーリ飯店」、「宮川」、そして1階の「千疋屋」など懐かしいお店の名前を次々思い出しましたし、特別の日の「丸の内ホテル」の中華「金閣」も美味しかったです。残業で遅くなった時に他部署の方、特に輸入課の方々が声を掛けてくださって食事をしたのも懐かしく、アフターファイブもいろいろな部署の方との交流は楽しかったです。バブル時代を楽しませていただきましたのも貴重な経験です。またお昼休みや退社後に向かいのビルのJTBに行っては旅のパンフレットを見て休暇の予定を立てたりするのも楽しみでした。

会社の行事

会社の行事もいろいろとありましたね。

全社での運動会や球技大会、ボウリング大会など本社と製油所の交流が頻繁にあったようにも記憶しておりますし、部活？で写真部、書道部、華道部、テニス部、他にいくつかあったようにも思いますが図書部もありましたね。文化祭として会議室で作品発表をした覚えもありますし、石油人の写真コンテストに参加したりしました。また部門別の旅行などで日光に行ったり箱根に行ったりしたことが楽しかったです。物好きな私はほとんどの行事に参加していたような気がします。お正月の仕事初めがまだ挨拶だけで終わりだった頃は有志で浅草へ初参りをしたこともありました。



1977年2月 レク委 奥志賀スキー

奥志賀山荘

奥志賀高原に素晴らしい山荘が出来てからは毎年恒例で夏・冬とバスを仕立てて行きましたが、個人的にも山荘の春夏秋冬を楽しんでいたように覚えています。山荘の管理人さんのスキーに憧れたのも懐かしい思い出です。昼間はハイキングやスキーをして、そして夜はカラオケと遅くまで時間を過ごした事など次々と思い出されます



1981年8月 奥志賀山荘キャンプ

本社での怖い経験

本社勤務の楽しかった思い出はたくさんありますが、怖い経験もありました。それが1974年8月の三菱重工爆破事件と1995年3月の地下鉄サリン事件です。ビルの前をたくさんの救急車や消防車がサイレンを鳴らして通りすぎ、幸い会社の方が被害にあわれたという事はなかったと覚えておりますが、石油連盟や金融機関などに外出する事が有りましたので、いつ何に巻き込まれるかわからないと思った事も有りました。

そして昭和54年（1979年）、**子会社の東亜共石が日本鉱業に譲渡され、昭和石油が東亜石油の筆頭株主となり実質的に当社が二つに分かれた時**には、長年一緒に仕事をしたりプライベートの時間を楽しんだりした方々とお別れするというとても寂しい思いをしました。今まで何度か経験した異動の後の思いとは全く違った寂しさで、手狭かなと思っていた事務所の広さを大きく感じたのをよく覚えております。そして新体制に入りI P P事業が始まりました。

私も総務・財務・総務と移り、新しい仕事にいろいろと戸惑い、他部署に迷惑を掛けながらも協力いただいて何とか無事に勤める事が出来ました。

今振り返ると、大手町時代は私にとって公私ともに人に恵まれ、仕事に恵まれ、いろいろな貴重な経験をたくさんさせていただいた時だったと思います。

感謝の言葉で私の思い出話を締めくくらせていただきます。